番号	句	住所・氏名
1	青もみじ風に揺られて心地よし	舞鶴市愛宕中町　休場　佳奈
2	千年のまひろときめく小紫陽花	焼津市中根　見崎　省司
3	故郷の地石山寺で感じる美	大津市大平二丁目　中川　菜々美
4	水の音緑の匂い石山寺	
5	幻住庵澄める流れや山の水	大津市田辺町　山田　和義
6	糸雨あかるさに鉢組み上がる	大津市別保二丁目　田中　文子
7	塗り椀の黒つややかに牡丹餅	
8	赤きへそ向けてレタス並びけり	大津市松本二丁目　松田　翔
9	しゃぼん玉涙の理由を知っている	
10	少年のバケツを覗く西日かな	
11	手を振りて我が名呼びたる春日傘	
12	下手人は行方知れずや虫明され	
13	目で蜥蜴追うて三角座りかな	
14	青葉光る小鳥の声にライトアップ	大津市杉浦町　中嶋　和子
15	女ふたり寺で見つけたもみじ花	
16	泰然として炎中の硅灰石	城陽市今堀　林　力朗
17	梅雨湿り式部恩寒の間の畳	
18	観音の細きくびれに滴光	さいたま市浦和区　圓口　邦子
19	すい道のぶちぶちぶちと水の音	
20	青紅葉押され参りて石山寺	彦根市高宮町　前川　菅子
21	水の音羽虫過ぎりて岩に止む	
22	池に寄り蚊柱と参る岡かな	大津市膳所二丁目　宮本　やす江
23	石山のかすかにきこゆ水の声	さいたま市浦和区　圓口　邦子
24	小さき流音の響きやかそけくも	
25	寺に雨心安まる休業日	記名なし
26	揚羽蝶池を巡りて森の中	大津市田辺町　山田　和義
27	御みくじや浴衣の子らのはしゃぎ声	
28	幻住庵小さき庵や梅雨近し	京都市上京区　山内　紀子
29	老雪の声を聞近五月闇	
30	まなざしに夏めく湖のひかりかな	京都市山科区　山内　時子
31	幻住庵入れば江戸の世木下闇	
32	山道や幻住庵に栗の花	京都市高野夢原町　小倉　紀美子
33	青楓見つつ訪ねる幻住庵	
34	夏空や殻を登りて庵着く	大津市石山寺二丁　まつおしげひさ
35	夏空と登り芭蕉の庵着く	
36	幻しの庵を飾る青紅葉	京都市伏見区桃山　記名なし
37	木漏れ日にさえずり絶えず朝の庵	大津市国分一丁目　河野　いち子
38	椎の花訪ふ人のなき翁の庵	
39	緑台に近江の風のやはらかし	京京都中央区佃　伊藤　豊美
40	ぱったんこ芭蕉の声の呼ぶごとく	
41	つゆの間の幻住庵へ足はこぶ	名張市すずらん台西　岡田　小千代
42	梅雨晴間「光る君へ」の電車広告	大阪市都島区善源寺町　石原　一則
43	写経の手止めて新緑法の庭	
44	うっそりと木下闇の幻住庵	京都市伏見区深草　菅　佐和子
45	幻住庵跡ひきづりて石清水	
46	五月闇裏み隠せし幻住庵	宮崎県児湯郡新富　高木　智念
47	五月雨きざはし濯らす幻住庵	
48	芭蕉座像に置きある手袋緑さす	伊勢市上地町　坂口　緑志
49	芭蕉汲みし泉といふも美しき	
50	ベビーカー長き素足の若きママ	大津市田辺町　山田　和義

第１２０回　幻住庵俳句コンクール